

表紙「てぶくろをかいに」審査報告

実施日／2021年4月13日（火曜日）15:00～18:00

場所／淑徳大学 東京キャンパス

審査／はせがわゆうじ、井上あずみ、ゆーゆ、村山隆雄、百々佑利子、杉原麻美、南平かおり、松井紀美子

サポート／淑徳大学絵本審査会スタッフ（杉原ゼミ表現学科3年:足立陽紀、上原航、松本柚香、堀米ひな）、今尾公祐（有限会社ドレミ）

※カスチョール賞の審査は、2021年4月19日に田中泰子、田中友子、松井紀美子で京都にて別途実施。

選考について

日本の児童文学の世界を自由な発想で描いた好奇心溢れる作品が数多く寄せられ、審査会場は驚きと感動に包まれました。デジタルスクリーンの上では分からないディテールを見るため、作品を実物サイズでコピー印刷したのですが、それを会場に並べただけで、その数とクオリティの高さに圧倒されました。

作品の傾向として、大きく「親子の愛情」と「子ぎつねの好奇心」の2テーマに分かれていましたが、そのテーマに日本という国を想像して描いた探究的な作品が多かったことが印象的でした。日本への興味は日本の児童文学を課題にしたコンクールにとって嬉しいことです。

「本の表紙」コンクールなので、本の表紙に必要な「情報」が盛り込まれた完成度の高い作品であることが選出の基本ではありますが、審査会では個性のある表現や物語への興味が素直に伝わってくる作品も選出の要素に加えることに決めました。

なぜなら、会場に集められた皆さんの作品が、手に取って読んでみたいと思わせるような本の表紙といのは「テクニクだけではない！」という芸術性の存在を、審査員一同にアピールしていたからです。

そんな状況下で、各審査員は賞を決めることが非常に困難でした。これを日本では「嬉しい悲鳴」と言います。そして、審査員は本当に悲鳴を上げながら選びました。どうしても悲鳴が収まらない場合は、賞を増やすという処方を見出しました！

日本もコロナ禍でストレスフルな毎日が続いています。今回寄せられた作品がそんな憂鬱な気分を吹き飛ばし、審査会場にいた全員に元気を与えてくれました。文化と芸術の持つ素晴らしい力が、皆さんの作品によって証明されたコンクールでもありました。

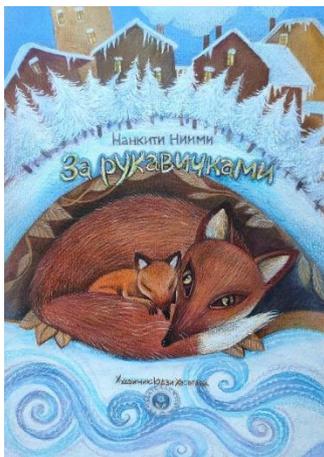
はせがわゆうじ賞

【審査員の総評】 はせがわゆうじ／イラストレーター

思いがけずたくさんの素晴らしい作品と出会えました。選ぶという作業はなんとも過酷ですね。応募作品すべてに何かしらの賞を差し上げたいと思ってしまいました。

どの作品もそれぞれ個性に溢れ魅力的でしたが、私が最後に選んだ作品の決め手は絵本の表紙としての実現性でした。絵とキツネのキャラクターの個性的な魅力、加えてレイアウトのアイデア、ディテールなど、申し分ないです。このまますぐ出版用の原稿として使えるのではないのでしょうか。絵だけを取り上げれば、素晴らしい技術のもの、他にはない独創的なもの、数々ありましたが、全体のバランスを考えるとこの作品が一番と判断しました。

しかしこんなに可能性いっぱいの才能溢れる若者が、日本に興味を持っていてくれることが大変嬉しく、そして将来が楽しみです。



Povalyaeva Viktoriya

井上あずみ&ゆーゆ賞

【審査員の総評】 井上あずみ／歌手

かわいいきつねの絵に囲まれ、全体で1作を選ぶことが出来ず、年齢の部ごとに1作品を選ばせてもらいました。選出で重視したのは親子の愛情が伝わってくるという作品です。3歳から6歳はきつねの親子がひとつの手袋の中にいるところが微笑ましく目をひきました。7歳から12歳は太陽の光に親子の間にある希望や暖かさを感じました。13歳から17歳の部は親子の愛を描いた日本のお話できつねが読者であるのかのように描かれているところが表紙としてよいと思いました。18歳以上の部は前部と似ていますが、これは逆に舞台が日本に限定されず、また他の作品とは異なった親子の愛情表現が心に残りました。

【審査員の総評】 ゆーゆ／歌手

まず、目の前に置かれたコピーの量に驚きました。そして、私たち親子が朗読したYouTubeをこんなにたくさんの方が聴いて作品を送ってくれたことをとても嬉しく思いました。ありがとうございます！私も全体で1作を選ぶのは難しく、また年齢で技術力も違うので各部で1作を選びました。ポイントは「私がこれが一番好き！」というインスピレーションです。もちろん、これ以外にもよいと思う絵はたくさんありましたが、最後は「本の表紙」として私が手に取るかと考え残った4枚でした。

3 歳から 6 歳の部

井上あずみ



Samaretc Andrey

ゆーゆ



Kulkova Epifaniya

7 歳から 12 歳の部

井上あずみ



Dyukareva Anna

ゆーゆ



Kuvshinova Anastasia

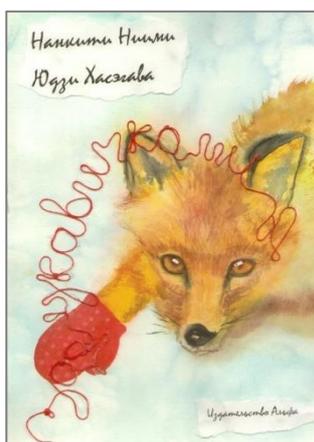
13 歳から 17 歳の部

井上あずみ



Samsonova Gayane

ゆーゆ



Vishnyakova Anna

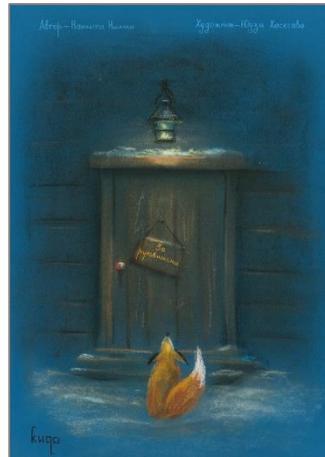
18 歳以上の部

井上あずみ



Drobotova Elena

ゆーゆ



Kodatenko Anastasiya

カスチョール賞

【審査員の総評】 田中泰子／翻訳家、大阪外国語大学名誉教授

ロシアの冬は日本と比べるととても寒く、毎朝子ども達は 2 重窓の外にある温度計を見て、コートを選びます。それからマイナス 20 度(モスクワでは)だと学校がお休みになるので、「あと一度、あと一度・・・」などと二重窓の間の温度計を見たり、町の中の大きな温度計(この写真はカスチョールが出した偕成社の「君にもできる国際交流」の 22 号 15 ページに出ています)がマイナス 20 度になると「ワー」と喜んで家に戻ってきます。その日は学校がお休みになるからです。

でもマイナス 19 度までは毛皮のコート、帽子、手袋やミトンで身体を覆って学校へ向かいます。日本の子狐の物語は、ほとんど、毎日雪の中で暮らしているロシアの子供達には自分のことのようにわかるでしょう。困っている人、弱っている人は誰でも助けようとするロシアの子供達にとって隣の国日本の子狐のお話は、とてもよく理解できるお話だと思います。だからこれほど多くの 3 歳からティーンの子どもたちがこのコンクールに参加したのでしょう。

【審査員の総評】 田中友子／翻訳家、ロシア絵本・ロシアアニメ研究文学研究

「てぶくろをかいに」は、いろんな解釈ができる作品だ。子どもが冒険を通して成長する物語と捉える人もいるけれど、私は子どもの力そのものを描いた作品と感じている。子狐は、お母さんから言いつかつた用事を見事すませ無事もどってくる。想像力が凝り固まる前の子どもだからこそ、お母さんに見えないものを見ることができ、大人にできないことを体験できるのだ。

知恵や常識を身につける前の子どもは、チャレンジを恐れず、大人が設けた関所をなんなくすりぬけ、誰とでもすぐ打ち解けて仲良くなってしまう。今度応募してきた子どもたちも、日口間の国境をなんなく越えて、やすやすとお話の中へ入ってしまった。もちろん、長年日本で愛されてきたウクライナ民話絵本『てぶくろ』がそうであるように、お話の筋がシンプルで普遍的だからこそなのかもしれないが。

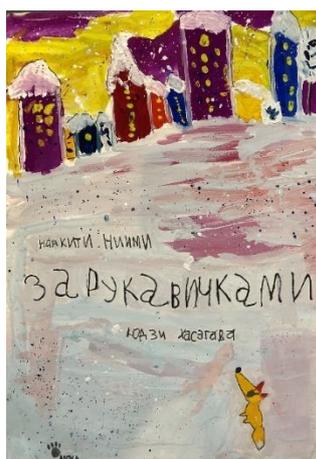
応募作品は、どの絵も屈託がなく、見ていて楽しい。楽しんで描いていることが伝わってくる。世界のどの地域へだって、どんな時代へだって、自由に渡り歩いてゆく子どもの力、その想像力に触れることができ感謝している。

田中泰子



Tsoy Sofiya

田中友子



Tuchina Mariya

本のつばさ賞

【審査員の総評】村山隆雄／聖徳大学文学部教授。元国立国会子ども図書館館長

私はロシアの冬を経験したことがない。今回の応募作品の中には、少なからず雪を「*」のような形で表現したものがあつた。凍てつく寒さの中では、雪はきらきらと光る星のように見えるのだろうか。手袋は寒さから身を守る象徴にちがいない。温かさを求める狐の親子への共感がさりげなく絵に込められ、どの作品も温かい。

応募数の多さもさることながら、力作ぞろいの中から選ぶことの難しさを痛感した審査であった。

【審査員の総評】百々佑利子／児童文学研究者、翻訳家、元日本女子大学教授

新見南吉作『てぶくろを買いに』は、ものがたりが大好きな日本の子どもたちに長く愛されてきました。そのお話が、国境をこえてロシアをはじめ世界の子もたちにとどけられ、今回のたのしい表紙画コンクールが実現しました。

審査が始まり、寄せられた全作品がテーブルに並べられ審査が行われました。母ぎつね、子ぎつね、ぼうし屋さん、おやすみまえの母子たちのそれぞれの心情への理解と共感があふれる絵ばかり、美しい雪景色を舞台に展開される物語を予感させる絵ばかり。受賞作を選ぶのはたのしく、そしてとても難しかったです。

今回のコンクールに挑戦したこれらのすばらしい作品が、どこかで保存・公開され、若いみなさんがこれからも、ものがたりと絵のコラボレーションを続けてくれることを願わずにはられません。ありがとうございました。

【審査員の総評】杉原麻美／淑徳大学人文学部准教授

絵本の表紙は、読み手を物語の世界にいざなう「扉」であり、書店や図書館で他の本と並んだ際に独自の存在感を放つことが求められます。そのため、初見で受ける力強さ、扉を開けて物語の世界に入りたくなる余韻を重視しました。私たちのキャンパスが所在する東京都板橋区は、3万冊以上の世界の絵本を所蔵する自治体で、これまでに絵本を研究対象とするゼミ活動も実施しています。今回のコンクールでは、あらためて国境を超え人をつなぐ絵本の力と、新美南吉の物語がもつ普遍的魅力を再確認できました。

【審査員の総評】南平かおり／日露比較児童文学研究者

受賞者の皆様、おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

力作ばかりで審査するのは非常に難しいものでした。応募作を拝見して、全ての作品に共通することですが、「てぶくろを買いに」の物語世界の解釈の深さに感動を覚えました。また応募者それぞれが表紙という限られたスペースに独自の世界観を表現していることに心を打たれました。

思えばロシアには、素晴らしい絵本の伝統があります。

19世紀末に登場した絵本のイラストレーターの先駆者ポレーノフ、アール・ヌーヴォー様式を取り入れた細密な絵で人々を魅了したビリーピン、国内外から注目され「ロシア・ソ連の絵本の黄金期」と言われた1920年代から30年代前半に活躍したレーベジエフやコナシェーヴィチ、その後に登場したラチョフ、ワスネツォフ、マーヴリナなど名前を挙げたらきりがないほどロシアには素晴らしい画家によるイラストレーションの歴史があるわけです。

審査をするなかで、応募作品のなかにこうした豊かな絵本の文化が継承されていることを強く感じ取ることができました。

新美南吉の「てぶくろを買いに」は日本の現代の子どもたちにも愛読されているお話です。このお話にロシアの皆さんのイラストレーションが施されるというこのコンテストを通じて、さらに日露の文化交流がさかんになることを願ってやみません。

【審査員の総評】 まついきみこ／出版社マイティブック代表、絵本作家シーナ・タノ

日本では「てぶくろをかいに」の絵本は異なる出版社から複数発売されているのですが、参考になるかと思いい 10冊ほどの表紙を集め審査の前に見てみました。すると驚いたことに、皆どこか日本の冬独特の重たさや暗さがあって、雰囲気似ているのです。もちろん、どれもお話に導かれる絵で、表現力豊かなものばかりでしたが、今回ロシアから寄せられた作品には、寒さや雪を楽しく描いた作品が多く、このお話に「冬の明るさ」が似合うことに気が付きました。

「知らない国」、「知らない言葉」、「知らない世界」を描いた作品から溢れる好奇心に見る側もワクワクしてきました。日本との距離は物理的には遠くても、想像の世界ではすぐに飛んでくれるのです。

本当に、たくさんの作品が「本のつばさ」で日本まで飛んできました。その中から、「冬の明るさ」を感じた作品を「冬のロシアはキラキラしていた！」と4年前のモスクワ訪問を思い出しながら選びました。

3歳から6歳の部

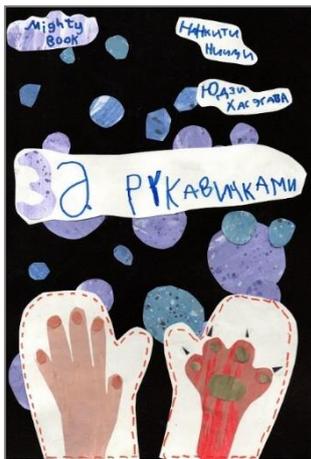
本のつばさ大賞



Sozinova Anastasiya

<総評>子ぎつねの表情は屈託なく、まだ町は遠いという感じがよく表現されています。子どもの持つ素直な感性が審査員の間で評価されました。

努力賞



Bashlak Agata



Nikitin Grigoriy



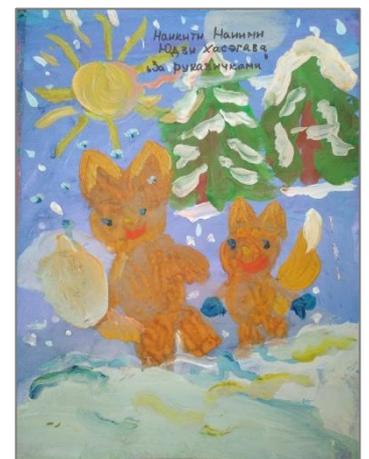
Munirova Emira



Tarumi Nika



Isaeva Eva



Dulych Diana

7 歳から 12 歳の部

本のつばさ大賞



子ぎつねがおずおずと町へ出ていきます。てぶくろが買えるといいな？と、背中が語っています。表紙をめくった後のお話へ期待が、独特の筆のタッチや色使いの温かさと一緒に、心に訴えかける点が評価されました。

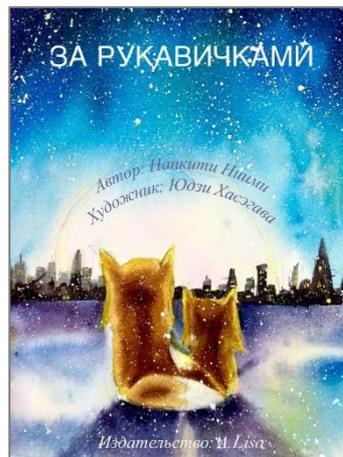
Kashlinova Veronika

特別賞



Brytkov Ivan

努力賞



Voronkova Alisa



Silkina Alisa

ユニーク賞



Rokach Alexandra



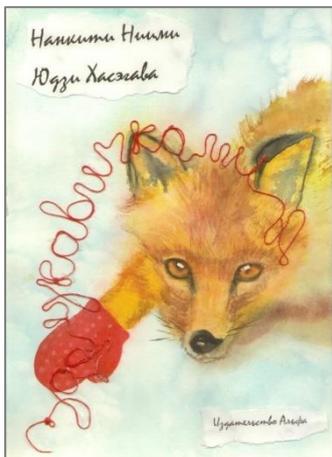
Chekmatova Pelagiya



Redkina Polina

13 歳から 17 歳の部

本のつばさ大賞



この作品は、子ぎつねの成長を感じさせ、高度なテクニックをものにしていました。毛糸でみごとにタイトルをつづったアイデアや、子ぎつねの目力が審査員一同の心をつかみしました。

Vishnyakova Anna

特別賞



Kamenshikova Mariya

努力賞



Toropova Anastasiya



Dmitriev Maxim



Kokoreva Darina



Gokkoeva Milena



Semyonova Elina



Kochkarova Yasmina



Danilova Daria

18 歳以上の部

本のつばさ大賞



描き手の解釈は、ファンタジーの真髄に迫ります。雪上に長く伸びる木々の影は、森の動物たちが動きまわる時間が近いことを表しています。ものがたりのエンディングには、子ぎつねの安堵感と母ぎつねの警戒心が描かれていますね。表紙絵のこのおだやかな森の情景は、経験値の世代間ギャップや自然と人間の距離をたくみに示唆しています。

Anisimova Anna

特別賞

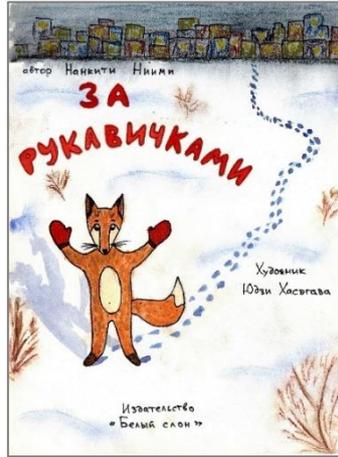


Akopyan Veronika

努力賞



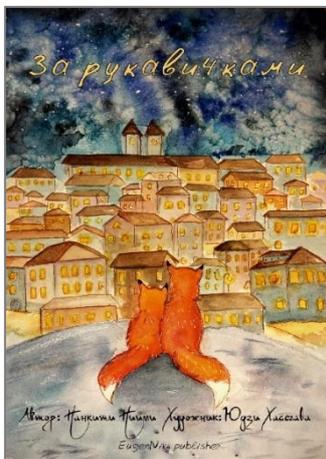
Singosina Anna



Tepikina Irina



Fey Natalia



Sarkisova Evgeniya



Molodcova Liudmila



Gabrahmanov Marat



Trofimenko Oksana

淑徳大学 学生人気賞

【審査員の総評】

審査には、大学で出版や編集を学び書店員として働く学生も参加しました。その学生たちが選んだ人気賞を追加しました。



Potyakina Elena

足立陽紀 ● 各選考部門のいずれの作品もよく描かれていたと思います。学生人気賞作品は、絵本の表紙にするにあたり、目を引きやすく物語にマッチしているという観点から選考しました。

上原航 ● 年齢や技術に差はありましたが、「描きたい」という作者たちの強い気持ちは、どの作品からも伝わってきました。

堀米ひな ● 淑徳大学学生人気賞の作品を選出させていただいた理由は、数ある作品の中で「目についた」からです。実際に書店に並んでも目につくものが良いと思い選びました。

松本柚香 ● 絵 1 枚で『てぶくろをかいこ』の世界観が伝わってきました。描く人によって作品に浮かべるイメージや印象的に思うシーンの違いが出ていて興味深かったです。

ロシア側審査結果

イーゴリ・オレイニコフ賞

3歳から6歳の部



Kulkova Epifaniya

6歳

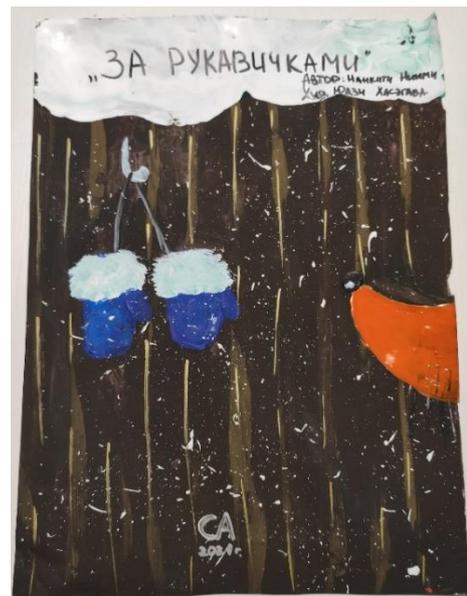
サンクトペテルブルク



Salihova Rianna

6歳

サンクトペテルブルク



Sozinova Alyona

6歳

ケメロヴォ

7歳から12歳の部

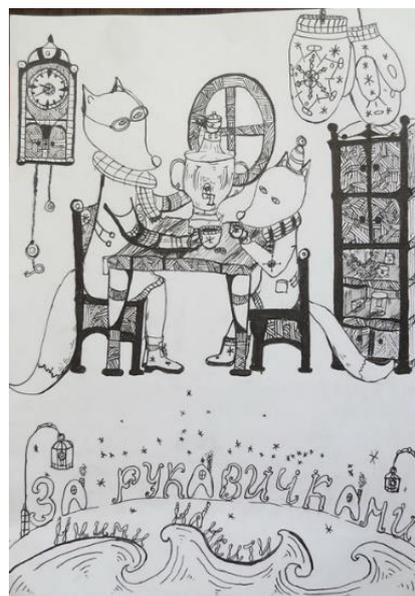


Kachashev Aymir

9歳

アルタイ共和国

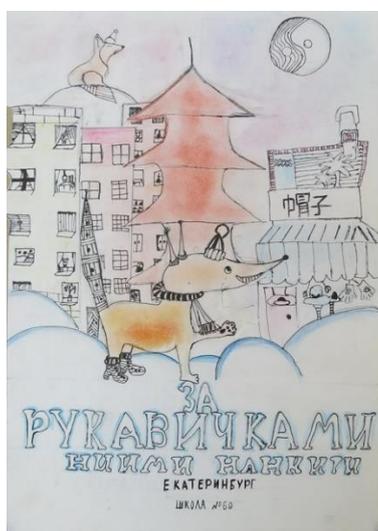
ウラガンスキー地区チビト村



Brytkov Ivan

10歳

エカテリンブルク



Malova Olya

9歳

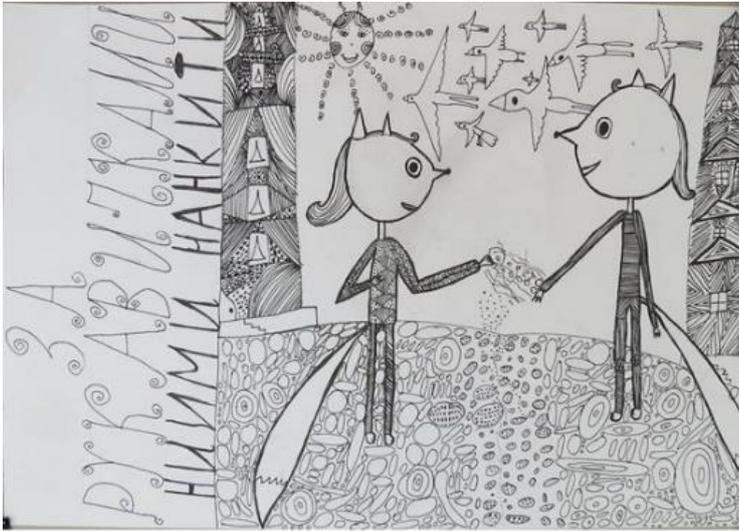
エカテリンブルク



Andrianova Polina

12歳

モスクワ



Iskhakova Aliya
10 歳
エカテリンプルク



Ivanova Angelina
9 歳
イジェフスク



Vladimirova Anna
12 歳
モスクワ

13 歳から 17 歳の部



Grozova Dasha

16 歳

ウクライナ

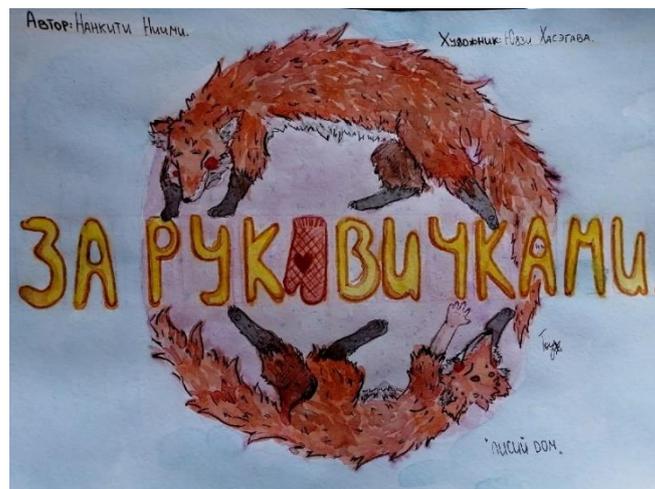
オデッサ



Kashicina Nadezda

13 歳

セルギエフ・ポサード



Belyakova Anna

16 歳

ムルマンスク州オレネゴルスク

18 歳以上の部



Klekotneva Evgenia

47 歳

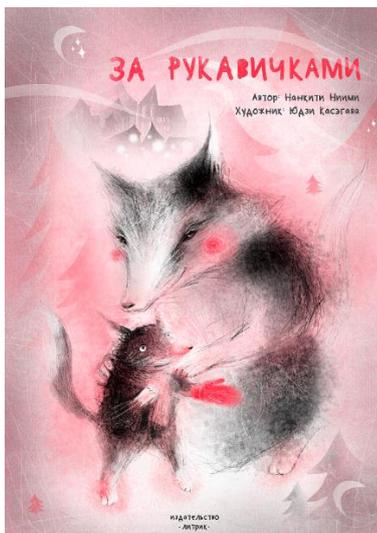
СанктПетербург



Timofeicheva Olga

38 歳

モスクワ



Avchuk Anastasiya

22 歳

Барлауш

Витепск



Suglova Galina

54 歳

Ижевск



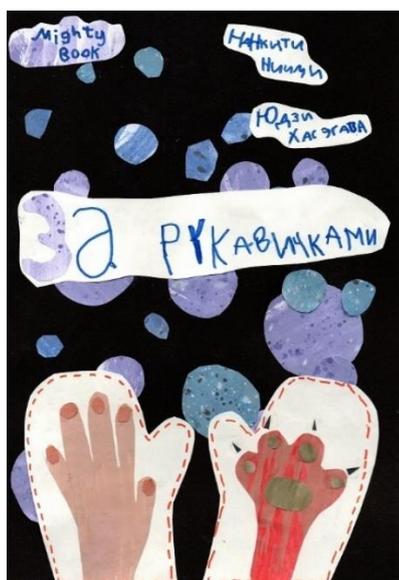
Evstifeeva Mariya

38 歳

Черявинск

アナスタシア・アルヒーポヴァ賞

3歳から6歳の部



Bashlak Agata
6歳
トリアツチ



Kurmanov Ali
5歳
クルガン州シャドリンスク



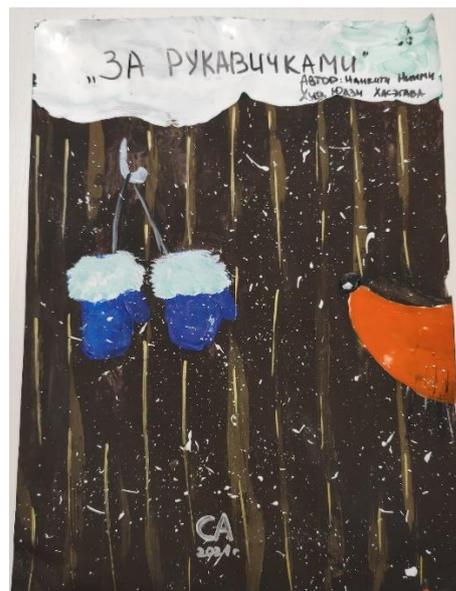
Volina Pavla
4歳
スモレンスク



Orlova Alyona
5歳
トゥーラ



Sigmund Emilija
6歳
スロヴェニア シエンチャンシュ村



Sozinova Alyona
6歳
ケメロヴォ

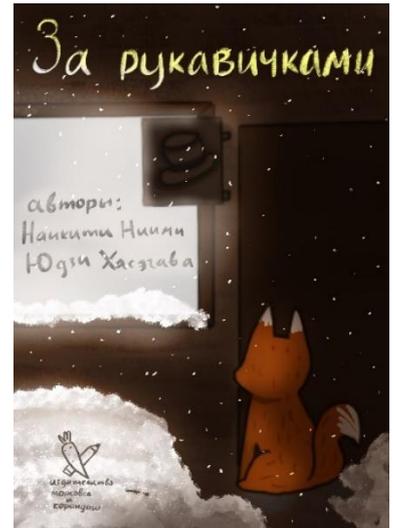
7歳から12歳の部



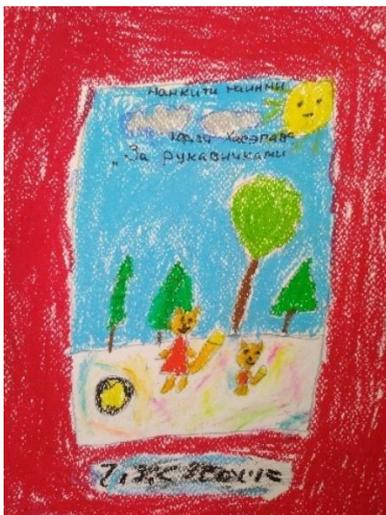
Hafizov Islomuddin
10歳
カルーガ州オブニンスク



Pashovkin Alexandr
9歳
パルミ



Velichko Anastasiya
11歳
モスクワ



Reva Arina
8歳
ウクライナ
ポルタヴァ州ジニキウ



Vladimirova Anna
12歳
モスクワ



Krupnova Valeriya
9歳
イジェフスク

13 歳から 17 歳の部



За рукавичками

Автор: Нанкити Ниими
Художник: Юдзи Хасэгава

Taranijina Daria

17 歳

エストニア

ナルヴァ



Нанкити Ниими

«За рукавичками»

Художник: Юдзи Хасэгава
Издательство "Читайстра"®

Dmitrieva Alyona

17 歳

ノヴォシビルスク



ЗА РУКАВИЧКАМИ

Автор: Нанкити Ниими
Художник: Юдзи Хасэгава

Zarubina Arina

14 歳

ロストフ・ナ・ドヌ



Нанкити Ниими
Юдзи Хасэгава

**ЗА
РУКАВИЧКАМИ**

Eroshina Anna

16 歳

ウラジーミル

18 歳以上の部



Gabdrahmanov Marat

31 歳

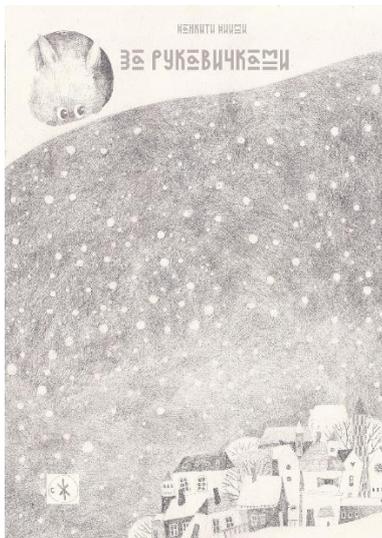
カザン



Klekotneva Evgenia

47 歳

СанктПетербург



Zhukova Svetlana

36 歳

モスクワ



Akopyan Veronika

22 歳

モスクワ



Fedyakov Aleksey

58 歳

СанктПетербург



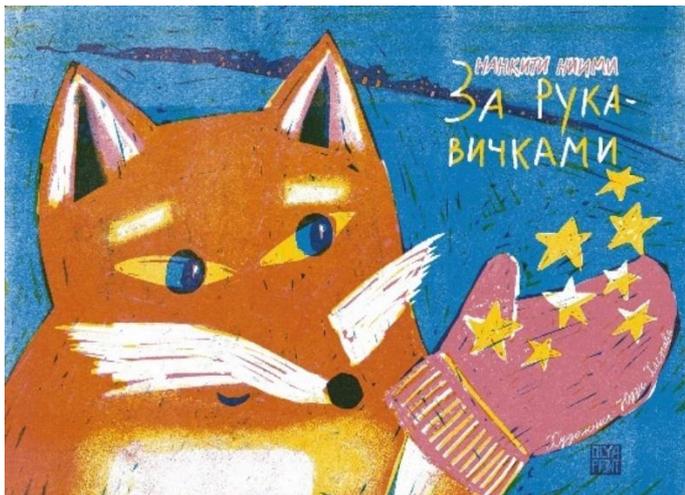
Kobyak Alexandr
61 歳
СанктПетербург



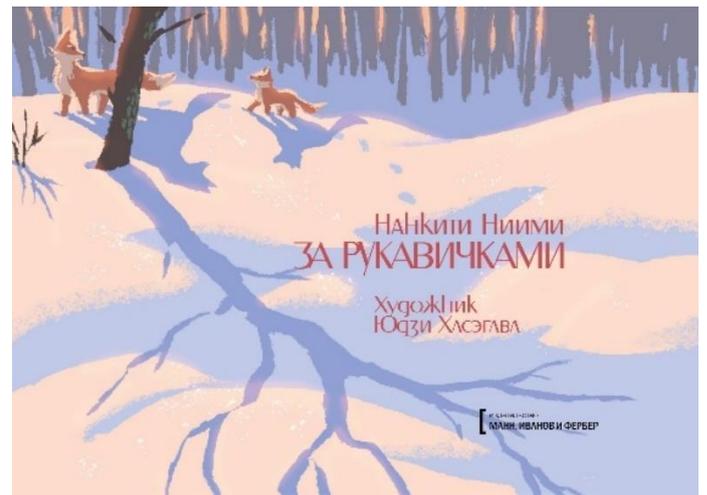
Peshkova Yuliya
46 歳
モスクワ



Dashevskaya Kseniya
30 歳
ベルギー
ブリュッセル

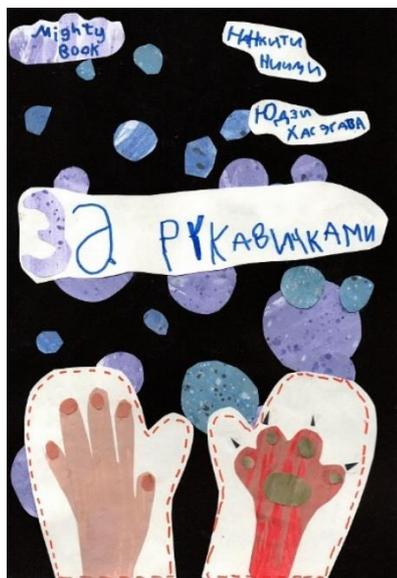


Lyahova Olga
26 歳
モスクワ



Anisimova Anna
22 歳
モスクワ

3歳から6歳の部



Bashlak Agata

6歳

トリアッチ



Funtusov Dimitry

6歳

エカテリンブルク



Volina Pavla

4歳

スモレンスク



Isaeva Eva

5歳

ヤロスラヴリ



Hon Elizaveta

6歳

ハバロフスク



Kulkova Epifaniya

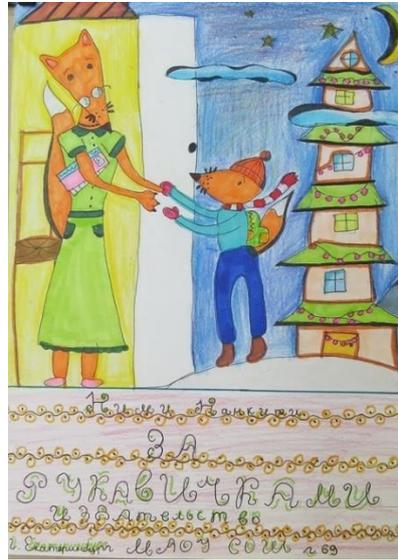
6歳

サンクトペテルブルク

7歳から12歳の部



Lonshakov Bogdan
8歳
エカテリンブルク



Smirnova Anna
9歳
エカテリンブルク



Avdonina Diana
10歳
エカテリンブルク



Bahareva Kristina
9歳
エカテリンブルク



Fyodorova Adeliya
7歳
チェリヤビンスク



Kozlov Larion
8歳
バラシハ

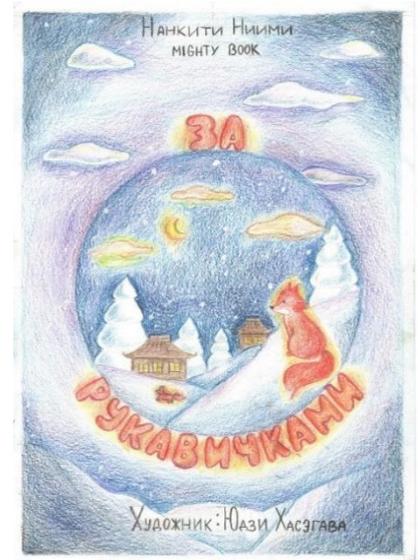
13 歳から 17 歳の部



Holmogorova Kseniya
15 歳
ウドムルト共和国
ザヴィヤロフスキー地区
ピログヴォ



Kochkarova Yasmina
16 歳
サンクトペテルブルク



Egorushkina Mariya
15 歳
モスクワ州ラーメンスコエ



Zarubina Arina
14 歳
ロストフ・ナ・ドヌ



Eroshina Anna
16 歳
ウラジーミル

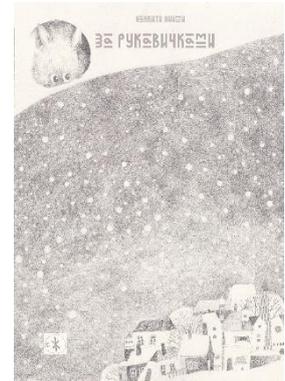
18 歳以上の部



Klekotneva Evgenia
47 歳
サンクトペテルブルク



Anisimova Anna
22 歳
モスクワ



Zhukova Svetlana
36 歳
モスクワ



Zhivoglyadova Yuliya
25 歳
プシュキノ



Senina Anastasiya
25 歳
カザン



Shemyakina Ekaterina
44 歳
モスクワ

3歳から6歳の部



Tuchina Mariya

5歳

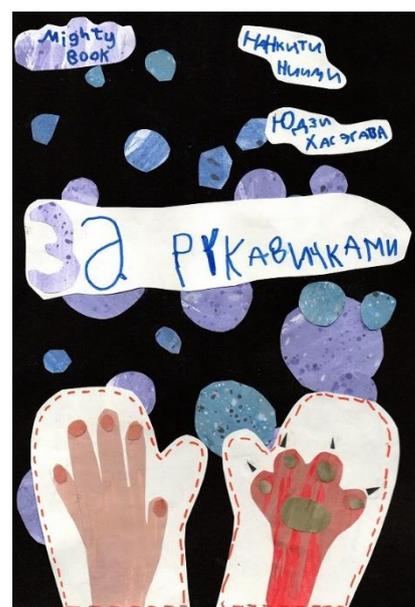
モスクワ



Sozinova Alyona

6歳

ケメロヴォ



Bashlak Agata

6歳

トリアツチ



Isaev Arseniy

6歳

ヤロスラヴリ



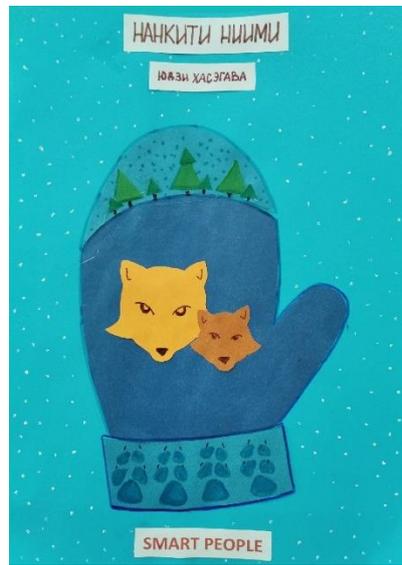
Kulkova Epifaniya

6歳

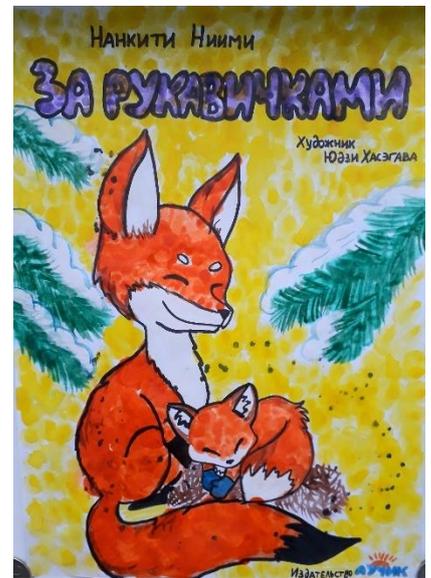
サントペテルブルク



Kurmanov Ali
5 歳
クルガン州
シャドリンスク



Samaretc Andrey
4 歳
タタルスタン共和国
ナブレジュヌイエ・チエルヌイ



Adamov Artyom
4 歳
イヴァノヴォ



Bondar Andrey
6 歳
ウクライナ
ポルタヴァ州ゼニコフ

7歳から12歳の部



Vladimirova Anna

12歳

モスクワ



Nikolaeva Elizaveta

11歳

イルクーツク州 サヤンスク



Stepova Sofiya

10歳

ウクライナ
ポルタヴァ州ジニキウ



Starovoi Elisey

8歳

サンクトペテルブルク



Egorenkova Elizaveta

10歳

サンクトペテルブルク



Chekmatova Pelagiya
11 歳
セルプホフ



Korzhova Polina
12 歳
チュメニ



Mirohina Varvara
11 歳
СанктПетербург



Rodionova Stella
12 歳
モスクワ州バラシハ



Leshukova Alina
10 歳
エカテリンブルク



Gudzikevich Olesya
10 歳
エカテリンブルク



Sakenov Amir
9才
カザフスタン
パヴロダル



Saratova Elina
9才
エカテリンブルク



Fyodorova Adeliya
7才
チエリャビンスク



Kuvshinova Anastasia
8才
サラトフ

13 歳から 17 歳の部



Zaburina Arina

14 歳

ロストフ・ナ・ドヌ



Kokoreva Darina

14 歳

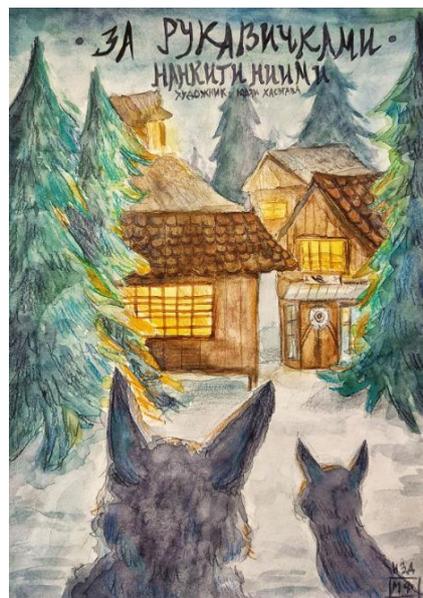
サンクトペテルブルク



Dmitriev Maxim

14 歳

クラスノダール



Fyodorova Mariya

14 歳

ヤクーツク



Sekhina Rimma

17 歳

ノヴォシビルスク



Borisova Ekaterina

17 歳

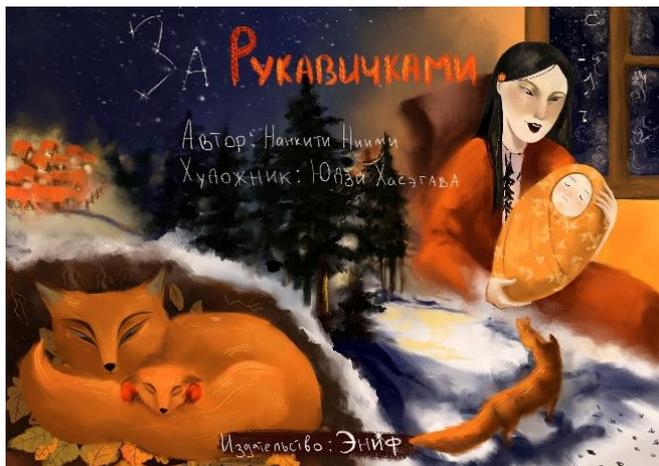
モスクワ



Churkina Polina

13 歳

ウラジオストク



Dmitrieva Anastasiya

16 歳

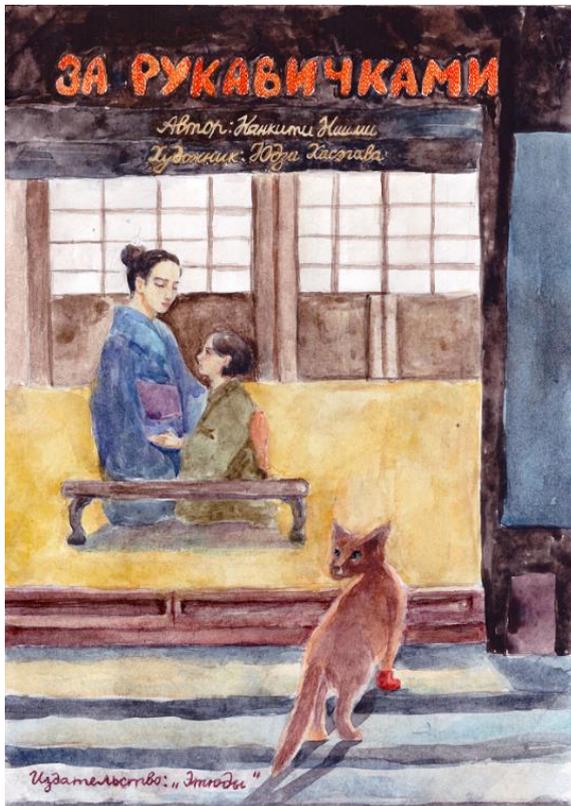
СанктПетербург



Shchepetkina Olga

16 歳

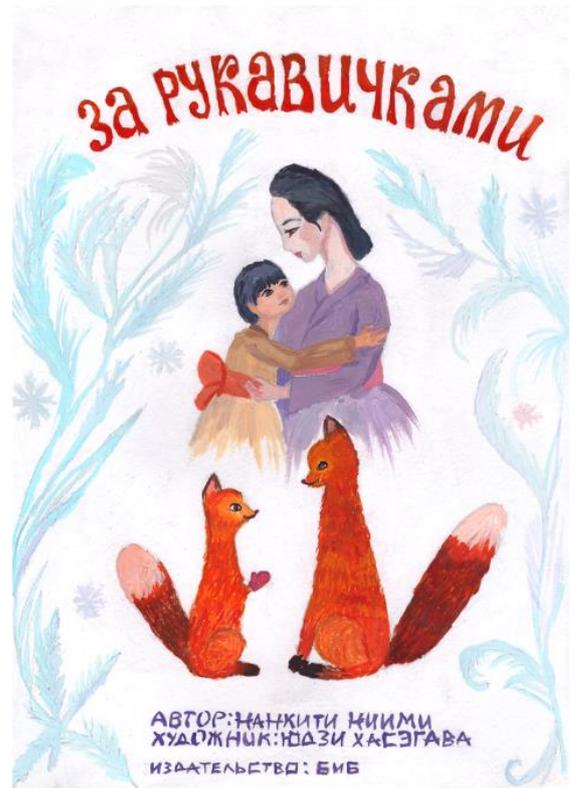
Благověщенск



Samsonova Gayane

14 歳

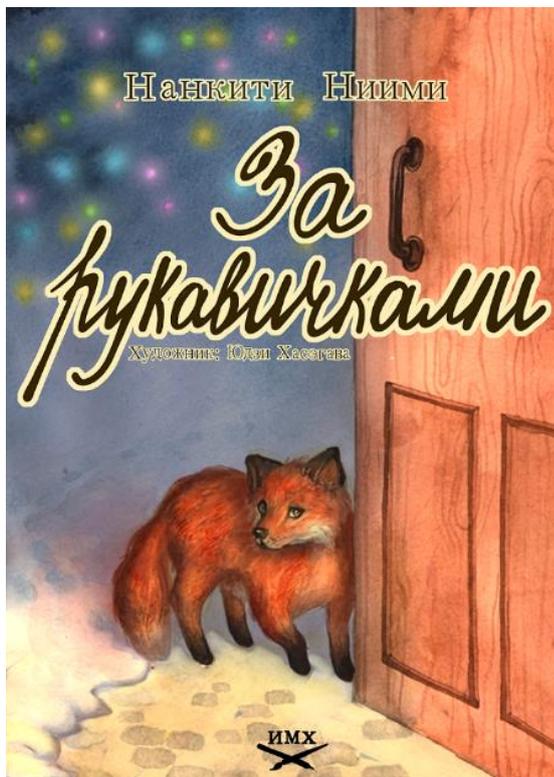
モスクワ州ロドニキ



Bibikova Anastasiya

15 才

モスクワ州イリンスキー



Grishkevich Oksana

17 歳

モスクワ

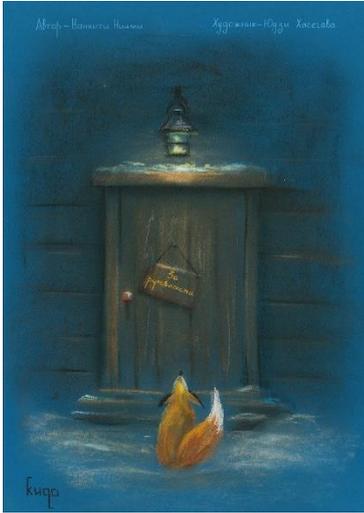


Ksenofontova Anastasiya

17 歳

プスコフ州ヴェリーキエ・ルーキ

18 歳以上の部



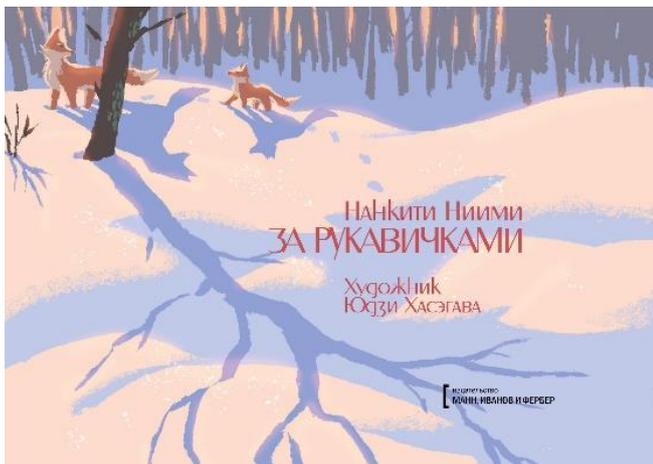
Kodatenko Anastasiya
28 歳
レニングラード州
フセヴォロシユスキー地区
ムリノ



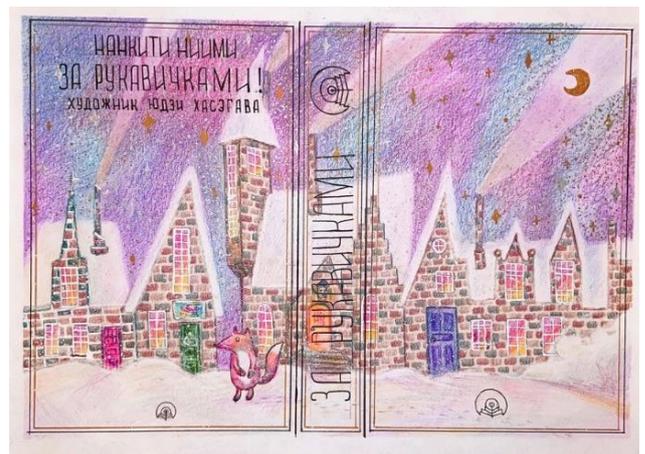
Peshkova Yuliya
46 歳
モスクワ



Nurova Gerlya
54 歳
カルムイク共和国
エリスタ



Anisimova Anna
22 歳
モスクワ



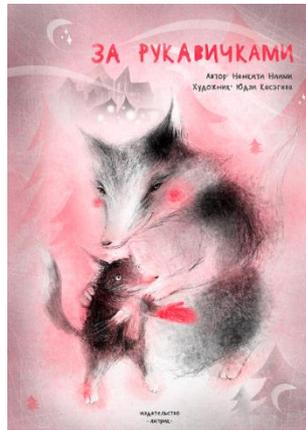
Plotnikova Anna
25 歳
ヴォルクタ



Kotelnikova Dariya

29 歳

モスクワ

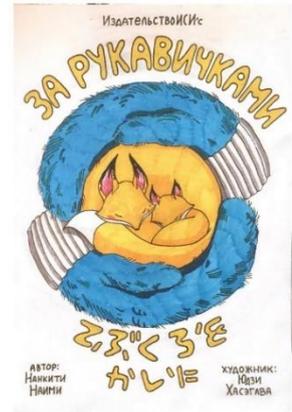


Avchuk Anastasiya

22 歳

ベラルーシ

ヴィテプスク



Horkin Kirill

19 歳

サランスク



Miroshnichenko Olga

26 歳

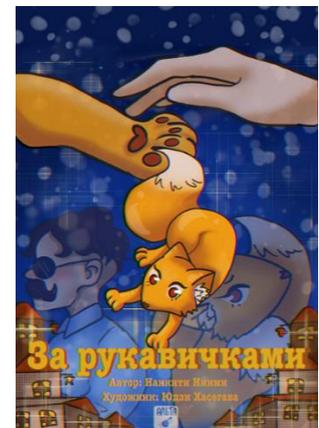
ハバロフスク



Varfolomeeva Yana

28 歳

サンクトペテルブルク



Pachkoriya Dea

22 歳

カザン



Kobyak Alexandr

61 歳

サンクトペテルブルク



Dashevskaya Kseniya

30 歳

ベルギー

ブリュッセル



Golubeva Darina

19 歳

サンクトペテルブルク